

出雲大好き♡

Iターン女子の 職場を訪問！

その
4

たなか なつみ
田中捺紬さん
(株式会社八興電気)

出雲大好きIターン女性支援事業を活用している
皆さんの働く姿を紹介する第4弾です。

田中捺紬さんは、昨年4月に神奈川県から移住し、現在、㈱八興電気で働いています。職場の皆さんからの熱い応援も受けて、女子サッカーチーム「ディオッサ出雲」で活躍中です。移住前は、出雲市や島根県についてまったく知らなかったそうで「旅行会社に勤めていた親に、いろいろと教えてもらいました。家族と離れるのはさびしかったです、大好きなサッカーで上をめざすという思いで出雲に行くことを決めました。」

出雲で働き始めて1年が過ぎ、「仕事は大変ですが、職場の皆さんは優しく、試合会場で応援してくれます。だからこそ、仕事でも貢献し、戦力になりたいです」と前向きです。

同社の岸野立彦社長は、「体育会系の彼女にとって、事務仕事になれるのは大変だったと思います。出雲弁を理解するのも苦労したでしょう。会社として、サッカーに集中できる環境づくりに最大限協力しようと思います。チームの活躍は、市にとっても良いことですし、自分も田中さんの活躍を楽しみにしています」と温かく見守ります。出雲の海が好きと言っている田中さん。「神奈川の海は砂が黒いですが、ここは白くてきれいです。親も出雲が好きなので、出雲のいろいろな所へ連れて行ってあげたいです。」と親孝行な面も見せてくれました。

現在、中国女子サッカーリーグで絶好調のディオッサ出雲。田中さんは、「一番の目標は、『なでしこリーグ』への昇格。まずは『なでしこチャレンジリーグ』入りを果たしたいです。」と意欲的です。

サッカーに、仕事に、一生懸命打ち込む「出雲大好きIターン女性」の田中さんの活躍に期待します。



デスクワークをこなす田中さん



笑顔で取材に応じる田中さん

出雲大好きIターン女子のみなさんのブログを「いずも暮らし」『FROM NOW ON, IZUMO』で公開しています。
<http://izumonakurashi.jp/izumoblog/>

おたすね／縁結び定住課 ☎21-6629

OH!

地産地消コーナー まいがな出雲！

Vol.5 甘くておいしいアカアマダイ！

暑かった夏も終わりが近づき、いよいよ食欲の秋が到来しようとしています。

秋が旬の食べ物はたくさんありますが、今回はその中から、アカアマダイを紹介します。

アカアマダイは、出雲市では主に小伊津で水揚げされる魚で、その名のとおり赤身がかった見た目と、とても上品な甘みを持っているのが特徴です。鮮度が落ちやすいデリケートな魚であるため、みそ漬けやかす漬け、一夜干しにされることが多いですが、活きの良いものの刺身や塩焼きは絶品です。

小伊津の漁業者の皆さんは、そのおいしさを保つために、魚を洗う水氷の量や温度を細やかに調節したり、主な市場となる京阪神への出荷時間を短縮するなど、多くの取組をしています。このような取組は、平成20年の全国漁村青壮年婦人活動実績発表大会で発表され、水産庁長官賞を受けました！そして、小伊津アマダイは、全国に名を知られるようになりました。

漁業者の皆さんのこだわりが、小伊津アマダイのおいしさの秘密です。食欲の秋のスタートダッシュに、ちょっぴりぜいたくをしてみませんか？

地元でとれる食材のおいしさを再発見して、積極的に消費してもらいたい！ 地元食材や生産者に親しみをもって、地域への愛着を深めてもらいたい！ との思いで、毎月いろいろな情報をお届けします。

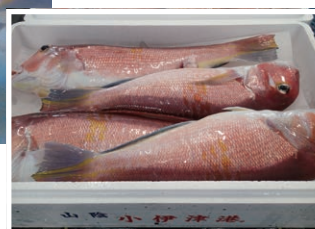
今月の担当 水産振興課 ☎21-6795

注目 アカアマダイの 栄養と効能

- 脂質が少なく、カロリーも低い。肉質も軟らかい、体にやさしい魚です。
- 貧血予防に役立つビタミンB₁₂や、更年期障害やガンを予防してくれるセレンなど、体の調子を整えてくれるビタミンやミネラルをバランスよく含んでいます。



水中ではこのような色をしています。



鮮度を保った新鮮な状態で出荷されています。

えがおになあれ

62

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

自分と向き合おうと 頑張っている子どもたち！

皆さんは、情緒障がい児短期治療施設を知っていますか？ 県内では唯一、神西沖町にあり、「みらい」という名前です。県内各地から集まった元気いっぱい小学生から受験を控える中学生までの子どもたちが、家族の元を離れて生活しています。さまざまな資格を持った職員と、隣接している学校の先生と一緒に頑張って見守っています。

「みらい」にいる子どもたちには、人の気持ちを理解したり、自分の気持ちの表現や感情をコントロールするのが苦手な子が多く、学校や家庭で身近な人と衝突するたびに、「また失敗した」「自分はダメだ」という思いになり、傷ついた経験をたくさんしてきました。この施設では、苦手な場面の対処方法を学び、成功体験を増やすことで自信を取り戻すよう取り組んでいます。

うまくいかない経験があっても、自分の弱い部分を知ることができ、

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

対処しようとする努力の積み重ねによって成長します。誰にでも苦手なところがあっても当然で、大人になっても変わらなかつたり悩んだりすることはたくさんありますが、すでに自分の課題と向き合っている子どもたちはすごい経験をしていると思います。一緒に生活した経験が地域に戻り社会に出た時に役立つ力となるよう願っています。

(執筆：児童心理療育センター みるい)

サンレイク合宿で
サバニに乗りました



学校で育てた枝豆を
収穫しました

おたすね／子ども政策課

☎216604

樹木のドクター

Vol.17



樹医からのアドバイス

紫外線は植物にとっても有害？

地表に届く太陽光は私たち人間だけでなく、植物にも大きく影響しています。今回は、紫外線が植物に与える影響について紹介します。

紫外線を浴びると、人間も植物も

“活性酸素”という物質が体内に発生します。私たち人間にとっては体の老化を促進しさまざまな病気の原因になります。植物も紫外線に当たりながら生きていくためには、活性酸素を除去しなければなりません。

そこで、植物たちは“抗酸化物質”と呼ばれるビタミンCやビタミンEを作り、活性酸素の害を消す仕組みを発達させました。ちなみに花びらの色（アントシアニンやカテキン）も“抗酸化物質”です。

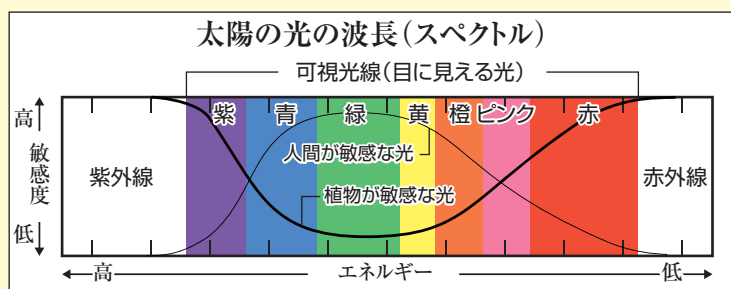
緑の葉っぱで美しく装う植物たちは、実は光合成をして、さらに自ら防御物質“抗酸化物質”を作り紫外線対策をしていたのです。

「カナメモチの紅色の美しい若葉も…」

カナメモチは、伸び出してきたばかりの若葉を紫外線から保護するために紅色（アントシアニン）ですが、葉の成熟とともに紅色は分解消失して葉は緑化していきます。

【木の葉の緑色は…】

植物は光合成をする際、緑以外の光を主に利用しています。このため、



(出雲市樹医
勝部 治良)

おたすね／出雲市樹医センター ☎226497